

一期一会

今年1月期、ぬくもりほつとらいんで受けた電話は139件であつた。その中で目立つのが「死にたい」「親子心中したい」という深刻な訴えである。その背景には、鬱病、躁鬱病、統合失調症などの精神疾患がある。彼らは病気の苦しみに加え、社会から遠ざかる不安と焦りが強く、堪え難い孤独

感とも闘っている。体の病気と違って心の病は正体がつかみづらく、納得できない気持ちちが怒りとなつて電話を通して受け手にぶつけられることがままある。

受け手にはつらい時間だ。かけ手の哀しみは想像をはるかに超えて深くて激しいからだ。受け手は受け止められずただ頭を垂れるばかり。自分の無力をかみしめて……。

でもうれしい言葉もある。「ぬくもりのおかげで……」「助けられました」「泣けてよかった」「楽になりました」。今回も励まされた言葉たちである。

(電話室よりYN)

